



# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2006.04.21

No. 29 - 37

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会  
〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274  
E-mail:office@alpajapan.org

## 千歳 ATC パイロット意見交流会参加報告

3月14日に新千歳空港ターミナルビル内会議室にて2年ぶりに ATC パイロット意見交流会が開催されました。本交流会は東京航空局総括統制官、千歳管制隊の共催で、自衛隊、航空局の管制官や新千歳空港に就航しているエアライン関係者をはじめ General Aviation も含め130名ほどの参加があり、ALPA Japan からは地元 HAC(北海道エア通勤)の乗員を含めた3名が参加しました。主に千歳管制隊から新千歳空港での管制方式や自衛隊の運航方式の説明がありました。以下に主なトピックスを紹介します。

### (1) 冬季の先行機とのセパレーションについて

冬季運航時は雪氷滑走路での Landing Roll に要する時間が増え、滑走路をクリアするのに時間を要したり、また滑走路除雪時などは滑走路の運用が1本に制限されるために到着時の先行機とのセパレーションが 20NM に設定されることがあります。千歳管制隊が調べたデータによると雪氷滑走路では、着陸後滑走路をクリアするまでに要する時間は短いもので2分16秒、長いものでは4分6秒、平均で3分1秒ということでした。また、閉鎖誘導路への誤進入を防ぐために滑走路から閉鎖誘導路への入り口には雪提を設けるようにしているとのことでした。

### (2) Taxiway A1 上の Hold Line について

RWY19R からの出発時に使用する Taxiway A1 には Inner Hold Line, Outer Hold Line の2種類があり、RWY19R への到着機がある場合には、Inner Hold Line では進入表面にかかる為に Outer Hold Line で待機するように指示されることがあります。

### (3) VOR/DME19L アプローチでの誤進入について

VOR/DME19L アプローチ実施時に誤って自衛隊千歳飛行場の RWY18L に Align する事例がいくつか報告されています。これは、千歳飛行場の RWY18L が新千歳の RWY19L の北約1NM に位置し、低視程時や夕刻の西日が強いときなど滑走路を視認しにくい為に発生することが考えられます。タワー管制官もレーダー画面にてモニターし注意喚起するようにしているとのことでしたが、パイロット側も誤進入の可能性を認識する必要があります。

### (4) 質疑応答

20番スポット付近では ATC との交信が Weak であることがあるとの報告があった。これについてはアンテナの位置に関係があるためではないかとのことであった。

また、Taxiway の表示についてアルファベット+数字(H6等)の表示になっているが、管制指示においてもこの表現が使用されたり、単にアルファベットだけで指示されることもある。新千歳に余り慣れていないパイロットにとってはとまどうこともあるとの意見が参加者からあった。

